

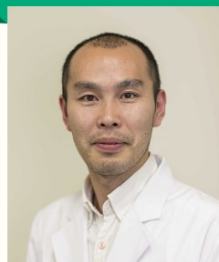
「いとしま免疫村」第3回健康づくりワークショップ

聞いて・測って・見て・わかる 免疫のチカラ

ご自分の免疫の状態をのぞいてみませんか？百聞は一見にしかずということで、唾液からIgA（免疫グロブリンA）という病原菌やウィルスの侵入を防ぐ物質を測定してみましょう。その結果がどんな意味を持つのか、私たちの免疫や健康にどう関係しているのかが気になりますね。そこで講義を聞いてその関係やしくみについて学び、専門家を交えた意見交換会でさまざまな側面から健康について考えます。

プログラム

講義 腸内細菌とIgAの関係
九州大学医学研究院 教授 新幸二氏



世界初※1 免疫バリアモニタリング体験
唾液で自分の「免疫バリア」を知ろう※2
NEC ソリューションイノベータ（株）



※1 NEC ソリューションイノベータ独自の/aptamer × イムノセンス独自の免疫測定法 GLEIA の共同研究成果

※2 免疫状態の指標の一つである唾液 IgA を分析し、体調変化リスクの兆しが事前にわかる

健康食品試食
シンバイオティクスサブレで腸内環境を整えよう
十文字学園女子大学人間生活学部 教授 辻典子氏



会場：糸島市健康福祉センターふれあい
糸島市志摩初1

定員：50名

どなたでもご参加いただけます

参加費：無料

参加にあたり、支援が必要な方はご相談ください

令和7年 2月15日(土) 10:00-12:00



お申込みはこちら

いとしま免疫村は、福岡県糸島市を中心に、先端的な科学やテクノロジー、そしてデザインやアートが交錯し、新しい共創文化を発信する拠点です。免疫をキーワードに糸島の豊かなリソースを活用し、さまざまな知識、技術、夢を持った生活者の方々、企業、大学が知恵を出し合いながら、ウェルビーイング実現に向けた場づくりをしています。

主催：糸島市

共催：九州大学 学術研究・産学官連携本部、公益財団法人九州先端科学技術研究所（ISIT）、
公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構（OPACK）

協力：国立大学法人九州大学未来化学創造センター

詳しくは糸島市HPをご覧ください▶

